

いつからだろう

誰よりも近いのに
誰よりも遠い

母と娘の物語

の
わたし
のお母さん

井上真央 石田えり

阿部純子 笠松将 橋本一郎 ぎい子 瑛蓮 深澤千有紀 丸山滯
大崎由利子 大島蓉子 宇野祥平

監督・脚本 杉田真一

メインテーマ：mayo「memories」(ドリーミュージック)

脚本：松井香奈 撮影：鈴木周一郎(JSC) 照明：志村昭裕 録音：山本タカアキ 高田林 整音：長島慎介 美術：宇山隆之

装飾：塩川節子 編集：早野亮 スタ일리スト：白石妙子 ヘアメイク：豊川京子

音楽：稲岡真吾 サウンドエディター：伊東晃 助監督：窪田祐介 製作担当：牧信介 伊達真人 企画：堀部昭広 三好保洋 プロデューサー：兼田仁

製作：刈谷日劇 アン・ヌフ TCエンタテインメント 東京テアトル U-NEXT リトルモア

製作プロダクション：ブラザ知立 ベストブレン

配給：東京テアトル 宣伝：マジックアワー

2022年/日本/カラー/1.85:1/5.1ch/DCP/106分

©2022「わたしのお母さん」製作委員会



22181-A

わたしの お母さん

「私は良かれと思ってやってるのよ。なに怒ってるの」
「大切にしないとさ、親なんだから」

三人姉弟の長女で、今は夫と暮らす夕子は、急な事情で母の寛子と一時的に同居することになる。明るくて社交的な寛子だったが、夕子はそんな母のことがずっと苦手だった。不安を抱えたまま同居生活がスタートするが、昔と変わらない母の言動に、もやもやした気持ちを抑えきれない夕子。そんなある日、ふたりの関係を揺るがす出来事が――。

井上真央 × 石田えり
実力派俳優ふたりが体现する“親子のリアル”

主人公の夕子には、25歳にして日本アカデミー賞最優秀女優賞を受賞し、たしかな演技力が絶賛される井上真央。母の寛子役には、実力派俳優としてキャリアを重ねハリウッド進出も果たした石田えり。夕子の兄弟役には阿部純子、笠松将と注目の若手俳優が勢揃いした。監督は、長編デビュー作『人の望みの喜びよ』(15)がベルリン国際映画祭ジェネレーション部門でスペシャルメンションを受賞し、人間ドラマを描く手腕が高く評価された杉田真一。誰よりも近いのに、誰よりも遠い。家族だからこそ言葉にできない、複雑で繊細な心情を丁寧に紡ぎ、ひとりの女性が葛藤を乗り越えて前へと進む道のりを静かに見守ってゆく。



watahaha-movie.jp

@watahahamovie

@watahahamovie

©2022「わたしのお母さん」製作委員会